令和6年度　第4回　東北地方整備局　事業評価監視委員会　審議案件一覧(道路事業:事後評価)

資料1

番号	審議区分	県名	事業名 [ ]は事業延長	事後評価実施理由 ( )は開通年月	前回評価年度 (再評価) 【 】は、前回評価時に費用便益分析を省略した事業	費用対効果分析の要因の変化 全体事業費	事業期間	現況交通量(R6時点) ※対象区間の加重平均で算出 実測値 ※R6.10実測	道路整備による主な効果 《カテゴリ》 ①混雑緩和 ②事故減少 ③災害時の信頼性の確保 ④救急医療支援 ⑤地域産業支援・物流支援 ⑥観光・地域交流支援 ⑦企業立地支援 ⑧日常生活利便性向上 ⑨冬期の走行性向上 ⑩沿道環境改善	将来交通量(R22時点推計) ※対象区間の加重平均で算出 【推計条件】 ■ネットワーク:評価時点の開通済み及び事業中区間(事業化ネットワーク) ■使用OD:評価時点の最新OD(H27OD)	B/C	対応方針(案)
1 (資料2-1)	重点	秋田	一般国道7号 下浜道路 [6.2km]	開通後5年 (R2.3)	H29	暫定2車線 139億円 ※当初完成4車線計画であったが、暫定2車線供用により事業費の変更あり 【-38億円】	暫定2車線 13年 H19～R1	17,100台/日	①混雑緩和 ②事故減少 ⑤地域産業支援・物流支援 ⑩沿道環境改善	15,700台/日	1.1	事業の目的に対する効果を概ね発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要性はないが、社会状況等の変化に応じて完成形の整備を検討する。
2 (資料3-1)	要点	岩手	三陸沿岸道路 釜石～宮古 [50km]	開通後5年 (R1.6)	H29	暫定2車線 完成2車線 2,183億円	暫定2車線 完成2車線 33年 S62～R1	10,800台/日	②事故減少 ③災害時の信頼性の確保 ④救急医療支援 ⑤地域産業支援・物流支援 ⑥観光・地域交流支援 ⑦企業立地支援 ⑧日常生活利便性向上	13,600台/日	1.5	事業の目的に対する効果を概ね発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。
		岩手	一般国道45号(三陸沿岸道路) 釜石山田道路 [23km]	開通後5年 (R1.6)	H29	完成2車線 1,038億円	完成2車線 27年 H5～R1	11,600台/日	②事故減少 ③災害時の信頼性の確保 ④救急医療支援 ⑤地域産業支援・物流支援 ⑥観光・地域交流支援 ⑦企業立地支援 ⑧日常生活利便性向上	13,400台/日	1.4	事業の目的に対する効果を概ね発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。
		岩手	一般国道45号(三陸沿岸道路) 山田～宮古南 [14km]	開通後7年 (H29.11)	H28	完成2車線 570億円	完成2車線 7年 H23～H29	9,700台/日	②事故減少 ③災害時の信頼性の確保 ④救急医療支援 ⑤地域産業支援・物流支援 ⑥観光・地域交流支援 ⑦企業立地支援 ⑧日常生活利便性向上	14,100台/日	2.1	事業の目的に対する効果を概ね発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。
3 (資料3-2)	要点	岩手	一般国道45号(三陸沿岸道路) 久慈北道路 [7.4km]	開通後5年 (R2.3)	H29	完成2車線 196億円	完成2車線 12年 H20～R1	7,900台/日	②事故減少 ④救急医療支援 ⑧日常生活利便性向上	8,200台/日	【一体】1.02※ 1.5	事業の目的に対する効果を概ね発現しているが、今後ネットワークとしての事後評価を実施し、改善措置の必要性等を検討する。
4 (資料3-3)	要点	岩手	一般国道106号(宮古盛岡横断道路) 都南川目道路 [6km]	開通後5年 (R1.12)	H29	完成2車線 318億円	完成2車線 23年 H9～R1	3,800台/日	②事故減少 ③災害時の信頼性の確保 ④救急医療支援 ⑤地域産業支援・物流支援 ⑥観光・地域交流支援 ⑧日常生活利便性向上	7,900台/日	【一体】1.01※ 1.2	事業の目的に対する効果を概ね発現しているが、今後ネットワークとしての事後評価を実施し、改善措置の必要性等を検討する。
		岩手	一般国道106号(宮古盛岡横断道路) 区界～築川 [8km]	開通後4年 (R2.12)	R1	完成2車線 542億円	完成2車線 10年 H23～R2	4,500台/日	②事故減少 ③災害時の信頼性の確保 ④救急医療支援 ⑤地域産業支援・物流支援 ⑥観光・地域交流支援 ⑧日常生活利便性向上	6,800台/日	【一体】1.01※ 0.7	事業の目的に対する効果を概ね発現しているが、今後ネットワークとしての事後評価を実施し、改善措置の必要性等を検討する。
		岩手	一般国道106号(宮古盛岡横断道路) 平津戸・岩井～松草 [7km]	開通後4年 (R3.3)	R1	完成2車線 602億円	完成2車線 10年 H23～R2	3,800台/日	②事故減少 ③災害時の信頼性の確保 ④救急医療支援 ⑤地域産業支援・物流支援 ⑥観光・地域交流支援 ⑧日常生活利便性向上	6,200台/日	【一体】1.01※ 0.7	事業の目的に対する効果を概ね発現しているが、今後ネットワークとしての事後評価を実施し、改善措置の必要性等を検討する。
		岩手	一般国道106号(宮古盛岡横断道路) 宮古～箱石 [33km]	開通後4年 (R3.3)	R1	完成2車線 1,156億円	完成2車線 10年 H23～R2	4,800台/日	②事故減少 ③災害時の信頼性の確保 ④救急医療支援 ⑤地域産業支援・物流支援 ⑥観光・地域交流支援 ⑧日常生活利便性向上	5,200台/日	【一体】1.01※ 1.03	事業の目的に対する効果を概ね発現しているが、今後ネットワークとしての事後評価を実施し、改善措置の必要性等を検討する。
5 (資料3-4)	要点	山形	一般国道112号 霞城改良 [1.3km]	開通後5年 (R2.3)	H29	完成4車線 259億円	完成4車線 18年 H14～R1	20,100台/日	①混雑緩和 ②事故減少 ④救急医療支援 ⑥観光・地域交流支援 ⑧日常生活利便性向上	26,000台/日	1.1	事業の目的に対する効果を概ね発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。
6 (資料3-5)	要点	福島	一般国道49号 猪苗代拡幅 [7.3km]	開通後5年 (R2.3)	H29	完成2車線 (一部4車線) 129億円	完成2車線 (一部4車線) 31年 S63～H30	8,800台/日	①混雑緩和 ②事故減少 ③災害時の信頼性の確保 ⑥観光・地域交流支援 ⑨冬期の走行性向上	8,900台/日	1.1	事業の目的に対する効果を概ね発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。

※赤字は当初想定していた事業の効果　　※R6再評価において、路線全体で評価したB/Cを記載